

福山市長  
羽田 皓 様

福山市遺児年金の存続を求める要望書

【要望主旨】  
福山市遺児年金制度が4月から廃止されようとしています。  
この制度は、高校生までの子どものいる、母子家庭や父子家庭を支援するために、子ども一人あたり、年額2万2千円（父母の両方がいない場合は4万1千円）を支給する制度で、市内で、6700人を超える子ども達が、この年金で学用品の購入に使うなど、生活支援に使っています。  
この制度をなくすと、母子家庭、父子家庭の子ども達は、わずかな生活の支えも失ってしまいます。  
いま、ひとり親家庭では、昨今の不況やリストラ、倒産や失業などの影響で、生活はますます追いつめられています。  
ひとり親家庭の子ども達は、離婚や死別など、親を亡くした悲しみや、ひとり親のつらさ、孤独を味わっている上に、厳しい就職難が追い討ちをかけています。  
そのような状況の子どもを支える「福山市遺児年金制度」の廃止はあまりにも冷たい仕打ちです。  
福山市遺児年金制度を存続させ、さらに拡充することを求めます。

- 【要望項目】
1. 福山市遺児年金制度を存続すること。
  2. 福山市遺児年金制度の支給額の引き上げなど、母子家庭、父子家庭の生活支援策を拡充する施策を講じること。

世話人代表 信野多美恵  
連絡先 084-953-1704

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
|    |    |
|    |    |
|    |    |
|    |    |
|    |    |

福山市議会議長  
小川眞和 様

福山市遺児年金の存続を求める請願書

【請願主旨】  
福山市遺児年金制度が4月から廃止されようとしています。  
この制度は、高校生までの子どものいる、母子家庭や父子家庭を支援するために、子ども一人あたり、年額2万2千円（父母の両方がいない場合は4万1千円）を支給する制度で、市内で、6700人を超える子ども達が、この年金で学用品の購入に使うなど、生活支援に使っています。  
この制度をなくすと、母子家庭、父子家庭の子ども達は、わずかな生活の支えも失ってしまいます。  
いま、ひとり親家庭では、昨今の不況やリストラ、倒産や失業などの影響で、生活はますます追いつめられています。  
ひとり親家庭の子ども達は、離婚や死別など、親を亡くした悲しみや、ひとり親のつらさ、孤独を味わっている上に、厳しい就職難が追い討ちをかけています。  
そのような状況の子どもを支える「福山市遺児年金制度」の廃止はあまりにも冷たい仕打ちです。  
福山市遺児年金制度を存続させ、さらに拡充することを求めます。

- 【請願項目】
1. 福山市遺児年金制度を存続すること。
  2. 福山市遺児年金制度の支給額の引き上げなど、母子家庭、父子家庭の生活支援策を拡充する施策を講じること。

世話人代表 信野多美恵  
連絡先 084-953-1704

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
|    |    |
|    |    |
|    |    |
|    |    |
|    |    |